



石巻市立石巻小学校 夏休みプール指導ボランティア

YMCA 石巻支援センターでは、一昨年、昨年に引き続き、石巻小学校のプール開放日にボランティアの青年を派遣してプール指導を行いました。今年は、東京 YMCA の社会体育・保育専門学校、医療福祉専門学校、山手学舎の学生ら合計 34 人が延べ 10 日間にわたりプログラムを行いました。参加した子どもたちは延べ 906 名にのぼります。

このボランティアは、震災後間もない 2011 年夏から行われています。やや高台にある石巻小学校は校庭・校舎床まで浸水し、子どもたちの通学区域の一部は壊滅的な被害を受けました。震災直後、学校のプールは、近所の唯一の夏休みの遊び場であり、連日 200 人近くの子供たちがプールに来ることもありました(全校児童数は約 300 人)。いかに子どもの遊び場が少ないかを物語っている数字です。

震災から 3 年目となる今年は、当時に比べればやや落ち着きを取り戻したものの、多い日は午前・午後計 170 人以上の子供たちがプールに来た日もありました。3 年目ともなると、学校側も子どもたちも、この YMCA のプール指導を恒例行事として受け入れて下さり、YMCA ボランティアとのとの出会いを楽しみにしているようでした。



入水前の準備体操も、ボランティアが指導をします。



プールに入る前、校長先生から震災当時の話や、今の子どもたちの様子について伺います。



低学年の児童に、正しいバタ足の指導をする社会体育・保育専門学校生。

プールでは、ボランティアたちは子どもたちの遊び相手になったり、専門性を活かしてプール指導を行いました。まだ水になれない低学年に水に落ちないように遊びながら指導をしたり、平泳ぎの足が分からない子どもに丁寧に泳ぎを教えたり、クロールのタイムを伸ばしたい子どもにアドバイスをしたり…。学校での水泳指導経験を活かして、きめ細かい指導が好評でした。また、子どもと水泳タイムの勝負を挑まれて、勝負に応えている学生もいました。中には「将来の夢は水泳選手」という子どももあり、ボランティアの青年の泳ぎに大いに刺激を受けたようでした。

震災から 3 年目の今年度中には、石巻市内の可燃ガレキの処理は完了する予定であり、市街地全体で見ると震災後の生活も一段落、落ち着きを取り戻したようにも思います。しかし、中には震災で親を亡くされた子どもたちもいれば、市街地から離れた仮設住宅から毎日車で学校まで通っている子どもたちもいます。学校では元気に遊んでいる子どもでも、家庭に帰るとまだまだ辛い現実があります。特に問題を抱える家庭の子どもにとって、この学校でのボランティア青年たちの関わりが少しでも安らぎの時間になることを願います。

東日本大震災復興支援募金

- ・ゆうちょ銀行(郵便振替)
- 振替口座:00120-7-714728
- 名義:公益財団法人 東京 YMCA
- ・銀行振り込み
- みずほ銀行 神田支店 普通 1677931
- 三井住友銀行神田支店 普通 7656469
- 名義:公益財団法人 東京 YMCA
- ※「東日本大震災」とお書き添えください。